



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 安達 紀史

令和8年2月20日 No.10

「時間」を見つめ直す

校長 安達 紀史

梅の花が咲き始め、春の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では今年度、生徒の健やかな成長を願い、部活動の活動時間について12月～1月は効果検証期間を設け見直しを行いました。この見直しは、東京都及び府中市のガイドラインに沿ったものです。実施後、この取り組みについて生徒や保護者の皆様にアンケートを実施いたしました。ご回答くださった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

アンケート結果からは、「活動時間が不十分」「この取り組みに反対」というご意見もありましたが、半数以上の方から「十分に活動できている」「勉強する時間が増えた」など、肯定的なご意見をいただきました。生徒からは「時間は短くなったが、練習を始める時間を早めたり、迅速な行動により、部活全体が高い集中力を維持できた」という声が聞かれました。また、「サポート役なら参加できる」という方がいることも分かりました。

～部活動の意義と現状について～

部活動は国が定める学校教育内容(学習指導要領)には含まれない「課外」活動ですが、長い歴史の中でその教育的な意義は認められてきました。仲間との協働、目標に向けた努力、忍耐力や社会性の育成など、部活動が果たしてきた役割は決して小さくありません。

しかし一方で、教員の勤務実態という観点から見ると、看過できない課題があります。教員の勤務時間は15時45分から16時30分を休憩時間、16時45分で勤務終了となっていますが、部活動は「休憩なしで時間外労働を行う」ことで実施されているのが実情です。また、部活動指導は教員本来の業務には含まれていないため、平日の時間外労働は無給で行われている実態があります。

さらに、教員の採用や人事異動は部活動指導を条件としているわけではないため、実技経験も指導経験もない部を担当している教員も少なくありません。本校では経験者が2割程度という状況です。そのため異動等により顧問が変わると、それまでの活動が維持できなくなることもあります。

加えて、学級活動や行事の指導を行いながら部活動を実施するため、指導者不在時にけが等の事故対応ができない状況も見られます。特に宿泊行事や運動会・合唱祭等の行事前は、部活動指導ができない状況となっています。近隣市では拠点方式を取り始めた地区もあり、部活動を行うため放課後に他校へ行き活動することを余儀なくされている状況も起きています。

こうした状況下でも、多くの学校でほとんどの教員が部活動を担当しているのは、部活動の意義を認め、生徒の活動を保障しようという善意や使命感によります。しかしそのため、過労死ラインを超える時間外労働が常態化していることも珍しくありません。これまでは教員は午後6時30分以降の部活指導後に教科や行事の準備をしていました。そのため小中高教員の中で超過勤務が多いのは中学教員となっています。

～持続可能な部活動を目指して～

この取り組みは、「持続可能な部活動」のあり方を追求するものです。生徒たちが心身ともに健康で、学習と部活動を両立しながら、充実した中学校生活を送ること。顧問の教員が、情熱をもって指導を続けられる環境を整えること。そして保護者の皆様にも、無理のない形でご協力いただけること。これらすべてが整ってこそ、部活動は持続可能なものとなり、結果として生徒たちの活躍を確保することにつながると思っています。

中学生という多感な時期は、部活動で仲間と共に汗を流すことも、机に向かって学びを深めることも、家族との何気ない会話の中で心を育むことも、すべてがかけがえのない成長の糧となります。限られた時間の中で、何を大切にし、どう過ごすか。その選択と工夫こそが、生徒たちの生きる力を育てていくのだと考えます。

実際、活動時間を見直したことで、生徒たちが部活動により集中して取り組む姿、メリハリのある生活を送ろうとする姿が見られるようになりました。「量より質」という言葉がありますが、時間という枠組みを整えることで、生徒たち自身が自分の生活をデザインする力を育て、その中で部活動の成果もしっかりと生み出していく。それが、この取り組みの真の目的です。

今後も、生徒たちの健全な成長を第一に考え、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを支えてまいりたいと存じます。引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

英語体験学習 (TGG)

1月29日(木)、1年生が立川にあるTGG(Tokyo Global Gateway)を訪問し、英語を使った体験型の学習に取り組みました。施設内には海外のスーパーマーケットやレストラン、空港等日常のさまざまな場面が再現されており、生徒たちはそれぞれの場面に応じて英語でのコミュニケーションに挑戦しました。最初は言葉がすぐに出てこず戸惑う様子も見られましたが、外国人スタッフの方々の方が優しく声をかけてくださり、生徒たちは次第に自信をもって英語を使うようになりました。身振り手振りを交えながら自分の思いを伝えようとする姿や、仲間と協力して会話を進める姿が多く見られ、教室では得られない貴重な学びの機会となりました。今回の体験を通して、英語はテストのための教科ではなく、人とつながるための道具であることを実感し、今後の英語学習への意欲を高める一日となりました。



横浜校外学習

1月30日(金)、2年生は校外学習として横浜方面を訪れました。当日は班ごとに府中本町駅に集合し、公共交通機関を利用して横浜へ向かいました。到着後は、みなとみらい方面、赤レンガ倉庫、横浜中華街、横浜開港資料館などを行動範囲とし、事前に各班で設定したテーマに基づいて自主的に見学・調査を行いました。歴史や文化、街づくり、観光の工夫など、それぞれの視点から実地検証を行い、資料を集めながら学びを深める姿が見られました。また、1年生の時に訪れた上野・浅草での校外学習を振り返り、江戸文化が色濃く残る街並みと、開港によって発展した横浜の国際的な文化との違いや共通点を比較することで、日本の多様な文化の成り立ちについて理解を深めました。今回の校外学習は、自ら考え、行動し、学びをまとめる力を養う貴重な機会となりました。



五中生の活躍

【陸上競技部】

- ・第64回東京都中学校ロードレース大会 男子2・3年 2km競走 第2位
女子1年 1km競走 第2位

【卓球部】

- ・第48回東京都中学校多摩地区新人卓球大会 男子団体 第5位

【ウインドアンサンブル部】

- ・第59回東京都中学生アンサンブルコンテスト 銀賞

【作文】

- ・第34回“明日のTOKYO”作文コンクール 佳作
- ・令和7年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会 作文委員会賞

※学校としても人権教育に貢献したとして感謝状が贈られました



府中市立小中学校PTA連合会設立70周年記念



私の学校自慢

府中市立府中第五中学校

【美術部】

府中市立小中学校PTA連合会設立70周年記念
私の学校自慢「ここでしか見れない屋上庭園」

※2/14~3/13の期間中バスに掲示中